岐阜県指定 児童発達支援事業所（指定番号 2150500425）

児童発達支援 ベストチョイス各務原

運営：株式会社イビリテ ｜ 対象：2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 定員：1日10名

5領域：言語・コミュニケーション　5領域：人間関係・社会性

課題 01｜ことば・コミュニケーション

「ことばがゆっくり・目が合いにくい・思いが伝わらない」

無理に復唱させるのではなく、「一緒に見て楽しい！（共同注意）」の積み重ねから自発語を育てます



お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 2～3歳を過ぎても単語がなかなか増えない・指さしが少ない
- 名前を呼んでも振り向かない・視線が合いにくいことがある
- 言いたいことが伝わらず、手が出たり泣いて訴えたりする

発達科学からの安心メッセージ

「言わせる練習」をしなくても大丈夫です

最新の幼児発達科学（JASPER／NDBI研究）では、「言ってごらん」と復唱させるより、子どもが夢中な遊びの中で大人と目線や楽しさを共有する（共同注意）方が、1年後の発語量が大きく伸びることが実証されています。

来所時のお子さまの様子に合わせた「2つのスタート分岐」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：好きな玩具（電車・ブロック等）へすぐ向かえる時

指導員が隣で同じ遊びをまねっこし、お子さまが視線を向けた瞬間に「ガタンゴトン！」「あ、つながった！」と短い言葉を添えて共感します。

B：場所見知りや緊張で、まだ遊びに入れない時

無理に声をかけず、安心できるコーナーやボールプールで身体の緊張をほぐし、指さしや笑顔での「非言語の共感」から始めます。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景



「言葉テスト」の緊張

大人から質問攻めにされると、言葉のハードルが上がり発声が止まりやすくなります。

STEP 2｜安心の土台づくり



同じ物を見て指さし共感

お子さまが見ているミニカーや図鑑を一緒に指さし、「大きいね！」と笑顔を共有します。

STEP 3｜遊びの中の療育



5秒待って気持ちを代弁

先回りせず「5秒」待ち、指さしや声が出たら「〇〇貸してだね」と短い言葉を添えます。

STEP 4｜育つ力・将来の姿



伝わる喜びから二語文へ

「人と関わると楽しい！」という実感が根づき、指さしから単語・二語文へと広がります。



実践① プラレール・ブロック・図鑑での共同注意

お子さまの「大好き！」を起点に言葉を添えるNDBIアプローチ

お子さまが自分で選んだ電車や恐竜パズルを使い、「あか・あおどっちにする？」と2択で選ぶやり取りや、車両をつなげる時の「せーの、ガチャン！」というリズム語彙を楽しく反復します。



実践② ごっこ遊び・見立て遊び（象徴遊び）

お人形やお店屋さんごっこで「どうぞ・ありがとう」を楽しく体験

家庭的な療育室でごっこ遊び（積み木を食べ物に見立てる等）を行い、言葉の土台となる「イメージする力（象徴機能）」と「やり取りの順番（ターンテイキング）」を育てます。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

「〇〇って言ってごらん」を1日お休みして、お子さまが見ている物を一緒に指さし、「わあ、ワンワンいたね！」と共感の笑顔を返す『心のキャッチボール』を1日3回試してみてください（UCLAカサリ教授・ランセットPACT試験準拠）。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）

②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ

課題 02｜かんしゃく・切り替え・落ち着き

「かんしゃくが激しい・切り替えが苦手・じっと座れない」

叱って我慢させるのではなく、「身体の感覚センサー」を満たし「目で見える見通し」で心を落ち着けます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 遊びの「おしまい」や予定変更で、床に転がって激しく泣き続ける
- 椅子に座り続けるのが難しく、立ち歩いたり手足が絶えず動いたりする
- 大きな音や初めての場所、負けた時にパニックになりやすい

発達科学からの安心メッセージ

性格やわがままではなく「感覚渋滞」と「ブレーキ工事中」です

3歳～未就学期の脳は、衝動を止める管制塔（実行機能）が発達途上です。さらに体の傾きや力加減を感じるセンサー（感覚統合）が渋滞すると、自律神経が「黄信号（パニック）」になり、大人の説得が耳に入らなくなります。

お子さまの自律神経モードに合わせた「2つの対応分岐」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：すでに泣き叫ぶ・パニック（黄信号モード）に入っている時
言葉での説得を止め、①静かな場所へ移動、②声かけを3語以下に減らす、③クッション等の心地よい重み（固有覚）でクールダウンします。

B：活動の切り替え前・ソワソワし始めている（予防期）の時
いきなり「片付けなさい！」と言わず、5分前に絵カードとタイマーで予告し、「最後にあと1回どれで遊ぶ？」と本人に終わりを選ばせて納得感を作ります。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景
感覚の渋滞と見通し不安
「次に何が起きるか分からない不安」と「感覚エネルギー余り」が重なると爆発しやすくなります。

STEP 2｜感覚センサーの充足
全身運動で脳をスッキリ
着席前にボールプール・マット・階段昇降で身体の重みとバランス感覚をしっかり満たします。

STEP 3｜見通しと自己決定
絵カード予告と2択決定
「①あそぶ→②おやつ」を絵カードで見せ、「赤と青どっちから片付ける？」と選択権を渡します。

STEP 4｜育つ力・将来の姿
自分で切り替える力へ
「できた瞬間を2秒以内に褒める」積み重ねで、集団活動でも気持ちを立て直せる力が育ちます。



実践① ボールプール＆全身感覚統合あそび

全身に心地よい圧刺激を入れて自律神経を「青信号」へ整える

みんな大好きなボールプールに潜ったり、クッションに包まれたりすることで、身体の輪郭を感じるセンサー（固有受容覚）が落ち着き、その後の机上課題への集中力が劇的に高まります。



実践② マット運動・「動と静」の切り替え遊び

「だるまさんがころんだ」やサーキット運動で脳のブレーキ係を育成

広いマットスペースで思い切り体を動かした後、「3・2・1・ピタッ！」と止まる遊びを取り入れ、叱られることなく楽しく感情と身体のブレーキ（抑制制御）を育てます。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

「早く片付けなさい！」を「大きいブロックと小さいブロック、どっちから箱に入れる？」という『2択の質問』に変えてみてください。自分で選んだ瞬間に脳の主体性スイッチが入り、イヤイヤが協力に変わります（ダンラップ教授 Choice-Making 研究準拠）。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）
②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ

岐阜県指定 児童発達支援事業所（指定番号 2150500425）

児童発達支援 ベストチョイス各務原

運営：株式会社イビリテ ｜ 対象：2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 定員：1日10名

5領域：健康・生活　5領域：運動・感覚

課題 03｜手先の器用さ・身辺自立・トイトレ

「手先が不器用・スプーンや鉛筆が苦手・トイトレが進まない」

指先だけを練習するのではなく、「体幹・姿勢の安定」からスモールステップで「自分でできた！」を育てます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- スプーン・フォーク・クレヨンをうまく握れず、筆圧が弱いか強すぎる
- ボタン留め、靴の脱ぎ履き、お菓子の袋開けなどを嫌がって大人に頼る
- トイレトレーニングや手洗い・タオルたたみ等の生活習慣が定着しにくい

発達科学からの安心メッセージ

指先の器用さは「体幹（お腹・背中の筋肉）」から順番に育ちます

人間の運動発達は「体の中心（体幹・肩）→腕→ひじ→手首→指先」の順番に進みます。体幹がグラグラしていると、指先に余計な力が入ったりすぐ疲れたりするため、まずは全身遊びで姿勢の土台を作ることが一番の近道です。

お子さまのつまずき箇所に合わせた「2つの支援ルート」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：姿勢が崩れやすい・すぐ疲れて机に伏せてしまうタイプ

まず毎日の階段上り下り・バランス運動で体幹と足腰の抗重力筋を目覚めさせ、足裏が床にしっかりつく椅子調整をしてから手先遊びへ入ります。

B：失敗するのが怖くて「やって！」と大人に頼るタイプ

最初から全部やらせず、大人が9割手伝って「最後の1ピースだけ自分でできた！」という成功体験（逆向きチェイニング）で自信を引き出します。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景

体幹の未熟と失敗の不安

姿勢を支える筋肉や手首の固定がまだ育っておらず、細かい作業が負担になりやすい状態です。

STEP 2｜体幹・姿勢の土台

階段上り下りと全身運動

3階までの毎日の階段昇降やマット運動で、椅子に座り続けるための体幹と肩甲骨を育てます。

STEP 3｜夢中になる指先遊び

パスタ入れ・シール貼り

ボトルへのパスタ入れ、電車シール貼り、おやつ袋を開ける挑戦など遊びの中で3指操作を鍛えます。

STEP 4｜育つ力・将来の姿

運筆・生活動作の自立へ

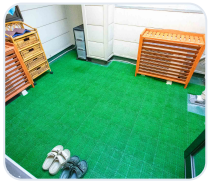
タオルたたみ・食具操作・段階的トイレトレーニングが身につき、自信をもって就学を迎えられます。



実践① タオルたたみ＆生活動作トレーニング

角と角を合わせる視覚認知と両手協調運動を日常のお手伝いの中で

運筆プリントやハサミ工作だけでなく、毎日のおやつ袋開け・タオルたたみ・靴揃えなど「生活の中で役に立って褒められる体験」を通じて、両手を別々に動かす協調運動を楽しく身につけます。



実践② トイレトレーニング＆3階までの階段昇降

ご家庭・保育園と歩調を合わせた段階的トイトレと毎日の体幹づくり

清潔で明るいトイレ環境で、「トイレに座ってみる→時間誘導→成功を一緒に喜ぶ」を無理なく実践。また来所時の階段上り下りを毎日の楽しい体幹ルーティンとして活用しています。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

靴を履く時や着替えの時、最初から全部をやらせるのではなく、大人が途中まで手伝って「最後のマジックテープをペタッと貼るところだけ」お子さまに任せて「自分でできたね！」とハイタッチしてみてください。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）

②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ

課題 04｜お友だち関係・集団行動・ルール

「お友だちと遊べない・順番が待てない・集団が苦手」

いきなり大人数の輪に入れるのではなく、「1日定員10名の小集団」で安心とルールを段階的に育てます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- お友だちの玩具を黙って取ってしまったり、貸し借りでトラブルになる
- 保育園・幼稚園の一斉指示や集団活動の輪に入れず、一人で遊んでいる
- 順番待ちやゲームの勝ち負けで泣いたり怒ったりしてしまう

発達科学からの安心メッセージ

「大人との1対1の安心関係」が、お友だち関係のスタートラインです

幼児期の社会性は「①大人と1対1で楽しくやり取りできる → ②お友だちの隣で同じ遊びをする（並行遊び） → ③順番やルールのある小集団遊び」の順で育ちます。大人数で緊張するお子さまには、少人数の温かい練習環境が不可欠です。

お子さまの社会性ステップに合わせた「2つの関わり分岐」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：お友だちに関心はあるが、言葉より先に手が出てしまう時
指導員がすぐ横に入り、手が出る前に「『かして』って言ってみようか」「タイマーが鳴ったら交代ね」と具体的な言葉のモデルと視覚ルールを仲介します。

B：集団に入ると緊張して固まる・一人で遊ぶのが好きな時
無理に輪へ入れず、まずは安心できる指導員と1対1で楽しく遊び、その隣に少しずつお友だちが並ぶ「並行遊び」から心地よい距離感を育てていきます。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景
大人数での刺激過多緊張
20～30人の集団では声や刺激が多すぎて、どう振る舞えばいいか分からず混乱してしまいます。

STEP 2｜安心の土台づくり
定員10名×指導員の信頼
少人数の家庭的な空間で、まずはスタッフと「気持ちを受け止めてもらえる安心感」を築きます。

STEP 3｜小集団での実践
揃っておやつと順番遊び
「みんなでいただきます」「中庭での遊具交代」など、2～4人の小集団で順番待ちを経験します。

STEP 4｜育つ力・将来の姿
図書館外出と園・小学校
公共マナーや「かして・どうぞ」が自然に身につき、園や小学校の集団生活へ自信をもって移行できます。



実践① みんなで揃っておやつ・小集団SST

毎日の「いただきます」とおやつ時間で、待つ力と共感を楽しく経験

1日定員10名の落ち着いた環境で、お友だちと一緒に椅子に座り、配膳を待つ・挨拶をする・「おいしいね」と顔を見合わせる毎日の生活ルーティンから社会性の基礎を育てます。



実践② 中央図書館へのお出かけ＆安全な中庭あそび

教室の中だけでなく、地域の図書館や囲まれた中庭で生きた社会性練習

先生と手をつないで歩く、図書館で静かに好きな絵本を選ぶ、建物に囲まれた安全な中庭でお友だちと順番に遊ぶなど、実社会につながるステップアップ体験を行っています。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

おもちゃの貸し借りで「貸してあげなさい！」と叱る代わりに、スマホのタイマーを1分セットして「ピピッて鳴ったら〇〇ちゃんの番ね」と『時計にルール役を任せる』と、お子さまも納得して交代しやすくなります。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）
②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ

岐阜県指定 児童発達支援事業所（指定番号 2150500425）

児童発達支援 ベストチョイス各務原

運営：株式会社イビリテ ｜ 対象：2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 定員：1日10名

5領域：健康・生活　5領域：運動・感覚

課題 05｜偏食（食の悩み）・睡眠・生活リズム

「食べられる物が極端に少ない・お昼寝や睡眠リズムが乱れる」

無理強いゼロの温かい昼食体験と、「午前中の運動×お昼寝サポート」で身体の内側からリズムを整えます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 白ご飯や決まったお菓子・麺類しか食べず、初めての食感を強く嫌がる
- 食事の時間が毎回バトルになり、保護者さまが献立や栄養面で疲れている
- お昼寝ができなかったり夜遅くまで目が冴えて、日中の機嫌が不安定になる

発達科学からの安心メッセージ

偏食は「好き嫌いのわがまま」ではなく、お口の中の感覚過敏です

発達特性のあるお子さまの多くは、舌や口の粘膜のセンサーが非常に敏感で、初めての食感や混ざった食材を「異物（危険）」と感じてしまいます。また体内時計（メラトニンリズム）の特性から睡眠の切り替えが苦手なことも科学的に解明されています。

お子さまの感覚特性に合わせた「食事・睡眠の2つのアプローチ」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：初めての食材を見るのも嫌がる・食卓に座りたがらない時

絶対に無理強いせず、「①同じ卓上に置くだけ→②匂い・つつくだけ→③1ミリ舐める→④食べられたら大絶賛！」の段階法で安心感を守ります。

B：体力有り余りで昼寝ができない・夕方にグズりやすい時

午前中に中庭で太陽の光を浴びながら全身運動を行い、昼食後に静かな専用お昼寝室で照度と音を落として入眠への自律神経切り替えを支えます。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景

口腔感覚過敏と睡眠乱れ

無理に食べさせようとすると緊張で余計に喉が締まり、食事そのものが恐怖になってしまいます。

STEP 2｜午前の活動と外気浴

太陽の光と運動で空腹へ

中庭での外気浴と全身運動で、心地よい空腹感と夜の睡眠ホルモン（メラトニン）分泌を促します。

STEP 3｜楽しい食卓と休息

昼食提供とお昼寝サポート

お友だちや先生と「おいしそうだね」と囲む温かい昼食と、専用お昼寝室で生活リズムを整えます。

STEP 4｜育つ力・将来の姿

一口の自信と情緒の安定

食べられるレパートリーが少しずつ広がり、夜の寝つきが良くなることで日中の癇癪も穏やかになります。



実践① 昼食の提供可能（段階的な食育支援）

ご家庭のお弁当負担を減らし、お友だちと楽しく食べられる幅を広げる

ベストチョイス各務原では昼食の提供が可能です。食べられる物からスタートし、お友だちが食べる姿を見る「ピア・モデリング効果」で、「一口食べてみようかな」という自発的な挑戦を温かく応援します。



実践② 専用お昼寝室での睡眠リズムサポート

刺激を遮断した落ち着いたお部屋で、園・家庭と連携した睡眠リズムづくり

活動スペースとは別に専用のお昼寝室を完備しています。ご家庭の希望やお子さまの体力に合わせ、午後の適切な休息や「お昼寝からの気持ちよい目覚め・切り替え」をサポートします。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

苦手な食材は「食べなさい」ではなく、「フォークでツンツンしてごらん、どんな音がする？」と『観察あそび』にしてみてください。また朝起きたらカーテンを開けて3分間太陽の光を浴びるだけで、夜の睡眠スイッチが入りやすくなります。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）

②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ

岐阜県指定 児童発達支援事業所（指定番号 2150500425）

児童発達支援 ベストチョイス各務原

運営：株式会社イビリテ ｜ 対象：2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 定員：1日10名

お子さまの課題別・療育解決ガイド｜シート 06 / 06

5領域：言語・コミュニケーション　5領域：人間関係・社会性

課題 06｜多文化・4言語対応・園と小学校への橋渡し

「家庭の母語と日本語の間で戸惑う・園や小学校入学が不安」

日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語の4言語対応で、家庭の母語を守りながら日本語と就学を支えます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- 家で外国語を話しており、言葉の遅れが二言語環境のせいか悩んでいる
- 日本の保育園・幼稚園での生活ルールや、小学校の就学相談手続きが不安
- 療育での様子や家庭での困りごとを、母語で細かくスタッフに相談したい

発達科学からの安心メッセージ

おうちの「母語」を絶対にやめないでください！（国際科学エビデンス）

カナダ・モントリオール小児病院の比較研究（PMID: 21938563）により、発達特性のあるお子さまでも「二言語（バイリンガル）環境が言葉の発達を遅らせることは一切ない」と証明されています。ご家庭では一番愛情を込められる母語でたくさん語りかけてください。

お子さまとご家族のニーズに合わせた「2つの多文化ブリッジ支援」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：お子さまの日本語理解・園生活のルールを伸ばしたい時

まずは母語と絵カードでお子さまの不安を取り除き、「母語の単語 ⇔ 絵カード ⇔ 日本語の単語」を遊びの中で自然につなげて日本語の発語と理解を育てます。

B：保護者さまが受給者証・保育園連携・就学相談でお困りの時

日・英・ポルトガル・スペイン語の4言語で日々の連絡帳や面談に対応し、各務原市役所・相談支援専門員・保育園・小学校への就学準備まで丁寧にサポートします。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景

言葉の壁による孤立不安

言葉が通じない不安からお子さまが園で固まったり、保護者さまが相談先を見つけられず孤立しがちです。

STEP 2｜母語での安心受容

4言語対応で心を開く

日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語で温かく迎え入れ、お子さまとご家族に安心感を届けます。

STEP 3｜日本語への橋渡し

絵カードと遊びで日本語

視覚カードと体遊びを使い、日本の園や小学校で使う生活語彙（「かして」「じゅんばん」）を育てます。

STEP 4｜育つ力・将来の姿

並行通園から小学校入学

母語の誇りと日本語のコミュニケーション力を両立し、地域の保育園・小学校へ笑顔で羽ばたきます。



実践① 4言語（日・英・葡・西）対応の安心窓口

玄関での送迎・日々の連絡帳・個別支援計画まで母語でも丁寧にご説明

まだ受給者証が手元になくても大丈夫です。市役所での手続き方法から、日々の療育でのお子さまの成長報告、就学相談の準備まで、多言語で分かりやすく伴走いたします。



実践② 保育園・幼稚園への送迎並行コース

片道30分程度の送迎対応！保育園・幼稚園と連携したハイブリッド通園

ご自宅だけでなく市内外の保育園・幼稚園へのお迎え・お送りにも対応（送迎可能時間 9:30～16:30）。園の先生方や相談支援専門員様と密に連携し、集団生活への適応を支えます。

★ ご家庭へのメッセージ（Português / Español / English 対応）

ご家庭ではお父様・お母様が一番自然に愛情を伝えられる言葉（母語）で絵本を読んだり褒めたりしてください。母語で育った「心の土台」の上に、私たちが責任をもって日本語と日本の生活ルールを楽しく積み上げます。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）

②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）

058-372-6123

まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）

対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語

メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ